

緑のマッチで被災地支援

義援金協力、地図に挿す



第1回 神戸マラソン

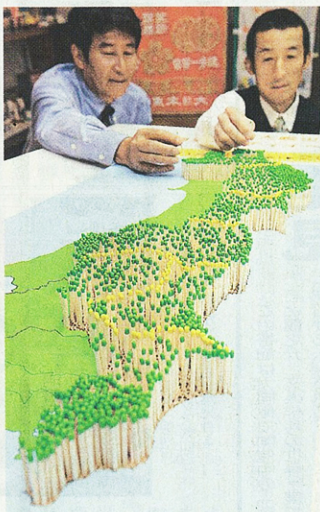
あと 5 日

日本燐寸工業会 ランナーら10万本目標

20日に初開催される「神戸マラソン」に合わせて、兵庫の伝統的地産業であるマッチの業界団体、日本燐寸工業会（神戸市中央区）が18～20日、東日本大震災の被災地支援イベントを展開する。義援金に協力してくれた人々に、先が緑色の特製マッチを手渡し、東北・関東の地図に挿してもらおう。美しい故郷の再生への願いを込め、10万本を目標に、緑の点で大きな地図を埋め尽くす計画だ。（広岡磨璃）

同工業会は、神戸マラの職員らが協力を呼び掛てマッチの軸木の産地だソンの趣旨が、阪神・淡ける。義援金1件ごとに、つた緑がある。ランナー路大震災からの復興を支え、マッチ1箱20本入りをも応援のみなさんも復興えくれた全国の人々へ、渡し、思い思いに挿してへの願いを込めて挿しての感謝と東日本大震災の、もう。大会当日の20日「ほし」と話す。完成は被災地支援となつては、ゴール地点の神戸、ポた地図は神戸市内や東北点に賛同。ランナーに挿トアイランド、市民広の被災地での展示を検討され気味の業界のPRも場で行う。3日間で5千している。同工業会は兼ねてイベントを企画し人以上の協力を目指す。ランナー全員に「災害た。使用するマッチは先に専務理事は「東北はかつ、贈る予定です。付している「頭蓋」が緑色で、会員企業が開発した着火しない特製品。地図は縦3センチ、横1.5センチの段ボール製で、マッチの軸が差し込めるように小さな穴が無数に開いている。強化段ボール製遊具で知られる丸一興業（尼崎市）が作った。

18、19日は、マラソン出場者へのゼッケン引き渡場所となっている神戸国際展示場で、同工業会



製作した地図に緑のマッチを挿す職員。本番では大型の地図を使う。神戸市中区北長狭通、日本燐寸工業会（掘影・高部洋祐）